

# マイクロソフトの「対象デバイス」と「対象ユーザー」

この簡易ガイドは、すべてのマイクロソフト ライセンス プログラムに適用されます。

## 目次

概要 .....	1
詳細 .....	1
対象デバイス .....	1
除外 .....	2
対象ユーザー .....	3
よく寄せられる質問 .....	3

## 概要

このライセンス簡易ガイドでは、Microsoft Enterprise Agreement (EA) などの該当するマイクロソフト コマーシャル ライセンス契約および加入契約の下で、どのようなデバイスが「対象デバイス」であり、どのようなユーザーが「対象ユーザー」であるかについて説明しています。

## 詳細

### 対象デバイス

Microsoft Enterprise Agreement (EA) 加入契約など一部のコマーシャル ライセンス契約および加入契約では、対象デバイスの数などに基づく段階的な価格設定で、組織全体のライセンスを提供しています。マイクロソフトの対象デバイスの定義は以下のとおりです。

「**対象デバイス**」とは、加入契約関連会社の企業により、またはその利益のために使用され、次のいずれかに該当するデバイスを指します。(1) Windows Pro をローカルで (物理または仮想オペレーティング システム環境で) 実行できるパーソナル デスクトップ コンピューター、ポータブル コンピューター、ワークステーション、同様のデバイス、(2) 仮想デスクトップ インフラストラクチャ (以下、「VDI」) にアクセスするために使用されるデバイス。次のデバイスは、対象デバイスに含まれません。(1) サーバーとして指定され、パーソナル コンピューターとして使用されないデバイス、(2) 産業デバイス、(3) 管理対象外のデバイス。加入契約関連会社は、自らの裁量により、上記で除外されたデバイス (産業デバイスなど) を加入契約関連会社の企業により、またはその利益のために使用する場合に、加入契約関連会社が選択したエンタープライズ製品またはオンライン サービスの全部または一部の対象デバイスとして指定することができます。

**注** 2019 年 10 月時点の Microsoft EA 加入契約に規定されている対象デバイスの定義。

## 除外

定義に規定するとおり、産業デバイスや管理対象外のデバイスなど、特定のデバイスは明確に除外されます。お客様は任意の除外されたデバイスを、選択したエンタープライズ製品またはオンライン サービスの全部または一部の対象デバイスとして含めることができます。既存の加入契約の下でこれらの追加デバイスのライセンスを取得すると、別の契約でライセンスを取得した場合は異なり、割引やその他の特典を利用できる可能性があるため、これらのデバイスを含めることをお勧めします。特に産業デバイス（以下に詳しく定義）、管理対象外のデバイス（以下に詳しく定義）、およびサーバー（サーバー オペレーティング システムを実行し、サーバーとしてのみ使用されるデバイス）など、除外されるデバイスのいくつかは容易に判断できます。

## 産業デバイス

「**産業デバイス**」(基幹業務デバイスともいう)とは、次の条件に該当するデバイスを指します。(1) 展開した構成では、汎用パーソナルコンピューティング デバイス (パーソナル コンピューターなど)、多機能サーバー、または商業的に実行可能なこれらのシステムの代替品として使用できないこと、かつ (2) 業界またはタスク固有のソフトウェア プログラム (建築用 CAD プログラムや POS プログラムなど) (以下、産業プログラム) のみを使用すること。デバイスには、マイクロソフト ソフトウェアまたはサードパーティ製ソフトウェアの機能が含まれる場合があります。デバイスがデスクトップ機能 (メール、ワード プロセッシング、表計算、データベース、ネットワークまたはインターネット閲覧、スケジュール管理、パーソナル ファイナンスなど) を実行する場合、デスクトップ機能は次の条件を満たす必要があります。(1) 産業プログラムの機能をサポートする目的のみで使用すること、かつ (2) 産業プログラムに技術的に統合されているか、産業プログラムの機能を使用する場合にのみ動作するように技術的に強制されたポリシーまたはアーキテクチャを採用していること。

**注** 2019 年 10 月時点の Microsoft EA 加入契約に規定されている産業デバイスの定義。

## 管理対象外のデバイス – 「管理」対象外かどうかを判断するには

お客様のボリューム ライセンス契約で、管理対象の対象デバイスの定義について、製品条項、製品リスト、製品使用権説明書のいずれかを参照する場合、以下の条件が適用されます。お客様が「管理」するのは、1 つ以上のオペレーティング システム環境を直接または間接的に制御するデバイスです。たとえば、以下のようなデバイスが該当します。

- デバイスがドメインへの参加を許可している
- デバイスがオンプレミスでアプリケーションを使用する要件として認証を行っている
- デバイスにエージェント (ウイルス対策、マルウェア対策、またはお客様のポリシーで義務付けられた他のエージェント) がインストールされている
- 直接または間接的にグループ ポリシーが適用、強制されているデバイス
- 直接または間接的にオペレーティング システム環境に関連付けられているハードウェアまたはソフトウェアに関するデータの収集または受信、ハードウェアまたはソフトウェアの構成、指示を行うデバイス
- デバイスが Windows SA、Microsoft Intune (デバイス)、Windows Virtual Desktop Access のローミング使用権の適用範囲外で仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) へのアクセスを許可している

ローミング使用権の下でのみ VDI にアクセスするデバイス、またはお客様のオフプレミスの対象サードパーティ製デバイスのみで Windows To Go を利用するデバイスのうち、本ガイドに規定する他の目的で管理されていないものは、本定義において「管理」されているとは見なされません。

**注** 2020 年 11 月のマイクロソフト製品条項に規定されている対象デバイスの管理の定義。

「管理」の定義はチェックリストにするとわかりやすくなります。管理の例のいずれか（ドメインへの参加など）が該当する場合、そのデバイスは管理されているため、対象デバイスとなります。

管理対象のデバイスかどうかを判断するための一般的な確認事項は、以下のとおりです。

- 1) オンプレミスで VDI に接続するデバイスは、常に対象デバイスとなります。
- 2) 管理対象のデバイスは、対象デバイスと見なされます。以下はすべて「管理」に該当します。
  - デバイスが組織のドメインに参加している
  - デバイスがオンプレミスでアプリケーションを使用する要件として認証を行っている
  - デバイスにエージェント（ウイルス対策、マルウェア対策、または組織のポリシーで義務付けられた他のエージェント）がインストールされている
  - Windows グループ ポリシー（または他の管理ソフトウェアによって制御されているポリシー）が直接または間接的に適用、強制されている（デバイスをスキャンし、最新の状態でない場合にのみユーザーに通知するケースは除く）
  - オペレーティング システム環境に直接または間接的に関連付けられているハードウェアまたはソフトウェアに関するデータの収集または受信、ハードウェアまたはソフトウェアの構成、指示を組織が行っている

## 対象ユーザー

対象デバイス向けの組織全体のライセンス オプションと同様に、対象デバイスのライセンスの代わりに、対象ユーザーのライセンスを取得することができます。あるいは、両方のライセンスの組み合わせを取得することもできますが、これは、ライセンスが適用されないすべての対象デバイスを、ユーザー ライセンスが適用されるユーザーのみが使用する場合に限られます。Microsoft Enterprise Agreement (EA) 加入契約などの一部のコマーシャル ライセンス契約および加入契約では、対象ユーザーの数などに基づく段階的な価格設定で、組織全体のライセンスを提供しています。マイクロソフトの対象ユーザーの定義は以下のとおりです。

「**対象ユーザー**」とは、次の条件に該当するユーザー（従業員、コンサルタント、臨時スタッフなど）を指します。(1) 対象デバイスのユーザーであること、または (2) エンタープライズ製品のクライアント アクセス ライセンス (CAL) を必要とするサーバー ソフトウェアまたはエンタープライズ オンライン サービスにアクセスすること。ただし、製品条項で対象ユーザーの例外に指定されているライセンスの下でのみサーバー ソフトウェアまたはオンライン サービスにアクセスするユーザーは含まれません。

**注** 2019 年 10 月時点の Microsoft EA 加入契約に規定されている対象ユーザーの定義。

## よく寄せられる質問

**Q1:** 加入契約期間中に製品条項の「管理」の定義が変更された場合はどうなりますか。

**A:** 現在の加入契約期間の開始日時点における最新の定義が、次回の更新時まで効力を有します。

**Q2:** 従業員が自分のパーソナル コンピューターを IT 部門に持ち込み、問題のトラブルシューティングや従業員が自分で購入したライセンス製品のインストールを依頼した場合はどうなりますか。

**A:** IT 部門が (業務用ではなく) 従業員の個人使用のためにソフトウェアをインストールする行為によって、デバイスが対象デバイスになることはありません。

**Q3:** Windows 10 を実行しており、プリント サーバーとしても使用している PC は、サーバーの除外に従って対象デバイス数のカウントから除外できますか。

**A:** いいえ。デバイスがサーバー オペレーティング システムを実行しており、サーバーとしてのみ使用されている場合を除き、これらの目的でサーバーと見なされることはありません。

**Q4:** 産業デバイスで VDI を管理したり、産業デバイスから VDI にアクセスしたりすることはできますか。

**A:** 産業デバイスは、対象デバイスの要件から除外され、対象デバイスとは見なされません。ただし、契約期間中のいずれかの時点において産業デバイスの定義に準拠していないデバイスは、対象デバイスとなります。

**Q5:** マイクロソフトは何を「ゲスト」インターネット アクセスと見なしますか。ゲスト インターネット アクセスに接続した場合、そのデバイスは対象デバイスになりますか。

**A:** ゲスト インターネット アクセスは、小売インターネット アクセス プロバイダーからユーザーに提供されるものです。ゲスト アクセスの場合、企業リソースなど、公共 Wi-Fi ホットスポットや家庭用インターネット接続では提供されないリソースへのアクセスは許可されません。企業リソースなど、公共 Wi-Fi ホットスポットや家庭用インターネット接続では提供されないリソースへのアクセスが許可されていない限り、ゲスト インターネット アクセスに接続しても、そのデバイスが対象デバイスになることはありません。

同様に、ゲストによるインターネット使用のみを目的として認証を行う行為によっても、デバイスが対象デバイスになることはありません。

デバイスにエージェントがインストールされていて、たとえば、お客様が接続を許可する前にデバイスのウイルス対策ソフトウェアを更新する場合、その行為はデバイスの管理と見なされるため、そのデバイスは対象デバイスとなります。ただし、エージェントがデバイスをスキャンして Windows とウイルス対策ソフトウェアが最新の状態であることを確認し、最新の状態でない場合にのみユーザーに通知するものの、デバイスに対して処理を行わない場合、そのスキャンによってデバイスが対象デバイスになることはありません。